**研修の概要**

**資料１**

本研修（「ケースを使った評価者研修」）は、ケースを題材として参加者が主体的に頭と体を動かす、参加者主体型の研修です。

参加者が、以下の4つのステップで、多角的かつ重層的に、一つの課題（＝ケース内の特定の人物に関する評価）について考えていく研修となっています。

**ケースを使った評価者研修**

**事 前**

**個人作業**：一つの課題（＝ケース内の特定の人物に

関する評価）に取り組む

**当 日**

**グループ作業**：同一課題にグループで取り組む

（自グループの他のメンバーの結論に耳を傾ける）

**グループ発表**：グループで出した結論を発表する

（同一課題における他グループの結論に耳を傾ける）

**講師解説**：同一課題における会社の結論

（講師による解説）に耳を傾ける

なお、上図のとおり、STEP1については（各自が）事前に行うもの、STEP2～STEP4については研修当日に行うものとなります。